

科目名	デザイン		英文表記	Design		2015/3/6		
科目コード	2016							
教員名：小松 橋人 技術職員名：						作成		
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科			2年	必	履修	1単位	演習	前期
科目目標	デザインの可能性、社会的な役割を理解し、 デザインする楽しさを実感すること及び社会に対する視野を広げることを目標とする。							
総合評価	企画内容40%、プレゼンボード30%、プレゼンテーション30%							
科目目標達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック				
				理想的な到達レベル (優)	標準的な到達レベル (良)	最低限必要な到達レベル (可)	セルフチェック	
	30%	① イメージを具体化することができる	イメージスケッチ・制作過程・提出作品等で総合的に評価する	柔軟な表現方法でイメージを判りやすく表現できる	適切な手法と用具を用いてイメージを表現できる	想起したイメージを説明できる		
	40%	② グループによるデザインワークを行い、企画を完成させることができる	出席状況・制作態度・スケジューリング等で総合的に評価する	協力して問題を発見・解決できる	役割分担に応じて作業ができる	グループ作業の意義を理解できる		
	30%	③ 基本的なプレゼンテーションを実施することができる	作品提出後のプレゼンテーションの工夫・わかりやすさ等を評価する	デザインの持つ特性や魅力を判りやすく伝えることができる	デザインの持つ特性や魅力を伝えることができる	プレゼンテーションの意義を理解できる		
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4				
		○	○	○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合								
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック	
評価項目		0	0	0	100	100		
基礎的理解	①②③				40	40		
応用力(実践・専門・融合)	②				20	20		
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③				20	20		
主体的・継続的学修意欲	①				20	20		
授業概要、方針、履修上の注意	筆記用具・絵の具セット・色鉛筆・マーカー等の着彩用具必須。 勤怠は大きく評価に影響します							
教科書・教材	教員自作見本・資料等							

**授 業 計 画**

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	デザイン概論B	2	様々なデザインについて		
2	レイアウト・構図概論	2	配置についての事例・基礎知識		
3	個人課題説明	2	CDジャケットデザイン		
4	制作 1	2	自身の力量と構想にふさわしいデザイン案を練る		
5	制作 2	2	イメージを丁寧に具現化する		
6	制作 3	2	イメージを丁寧に具現化する		
7	講評・反省	2	各個にコンセプトを説明し意見交換する		
8	グループ課題説明(授業内で検討)	2	課題内容とスケジュール立案		
9	デザイン案検討	2	グループ単位でデザインプラン構築		
10	デザイン構築	2	グループ単位でデザインプラン構築		
11	プレゼンボード作成 1	2	素材準備・レイアウト・貼付け等		
12	プレゼンボード作成 2	2	役割分担に従って計画的に進める		
13	プレゼンボード作成 3	2	同上		
14	プレゼンテーション(1)	2	グループ単位でプレゼン・質疑応答		
15	プレゼンテーション(2)	2	同上		
期末	期末試験	[2]	課題提出を以て評価とする場合アリ		
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
期末	期末試験				
学習時間合計		30	実時間	22.5	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①				各2時間×30回	
②				各5時間×2回	
③					
備考欄					